



●撮影／内田佳次



MW&CFD2010
ベストショット受賞

CFDふくい2011今年もやりまーす！

☆☆活動報告☆☆

6月21日 カーフリーデーふくい準備会

7月8日

福井市福井鉄道サポート団体協議会総会

7月12日

第1回カーフリーデーふくい実行委員会

7月15～16日

日本モビリティマネジメント会議

7月17日 福井鉄道親子鉄道教室・例会

7月19～22日

福井市NPOパネル展(福井市役所ホール)

7月20日 福井県健康バイコロジー推進協議会総会

7月21日 カーフリーデーふくい作業部会

☆☆今後の予定☆☆

7月26日(火) 第2回カーフリーデー実行委員会

8月9日(火) 第3回カーフリーデー実行委員会

8月中旬 カーフリーデーふくい作業部会

19日(金) 第89回理事会・月例会

20日(土) さばえ環境フェア2011

ゆうじんの部屋 書籍紹介

くるま依存社会からの転換を

—道路住民運動35年のあゆみと提言—

道路住民運動全国連絡会 編著 文理閣 2400円+税

道路建設に反対している人がどのような根拠で反対し、裁判、署名等どのような手法で事業を止めようとしているのか。そうした運動論を総覧できる本である。反対運動は予想交通量が多く、便益の多いところほど激しく、結果として便益の低い所に多く道路が作られるきらいがある。どのような道路が必要かということに関して、狭い可住地に人口が密集している日本と、欧米と同じ指標で比較することは無理であるにもかかわらず、道路推進側も反対側も都合のいいところだけ欧米の事例を持ってきて平行線になっている部分もある。

都市計画道路はなぜ何百メートルごとの網目状でないといけないのかなど、根本的でおもしろい疑問もあり、道路工学があまりそれに答えられていないと反省する部分もある。反対運動の結果として、整備の遅延、環境対策の充実等が挙げられているが、道路を求める人と反対する人を調整し、より高度な解決策に生かしていけないか。そのために自分は何ができるのか、悩みながら読み終えた。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第3回えちぜん鉄道活性化連携協議会の報告

報告者：内田佳次

◆開催日時：平成23年6月17日 16:30~18:00

◆協議会委員

福井大学教授 川上洋司（座長）、えちぜん鉄道サポート団体連絡会会長 和田高枝、ROBA 会長内田佳次、
福井商工会議所会頭代理 宮崎理事、えちぜん鉄道社長 見奈美 徹、福井市長 東村新一、勝山市長 山
岸正裕、あわら市長 橋本達也、坂井市長 坂本憲男、永平寺町長 松本文雄

◆専門委員

中部運輸局鉄道部長 大野義明（欠席）、福井運輸支局長代理 長谷川専門官、福井県総合政策部長 東
村健治

◆議事

1、今後のスケジュールと役割の確認について

8月 第4回連携協議会 連携計画素案
・ 今後10年間の経営見通し
・ 投資及び支援策の概要

9月 各議会

10月 第5回連携協議会 連携計画案のとりまとめ

12月 各議会

2月~3月 国へ送付

2、これまでの10年間の総括について

○えちぜん鉄道発足の経緯等 ○運行支援スキーム
○経営の実績 ○沿線市町が行ってきた支援策
○安全策 ○費用便益比計算
○総括のまとめ 次期支援スキーム検討の礎

◆参加委員の意見

サポート団体：永平寺町で駅ごとのイベントにはいつも100名相当の参加者がある。

「乗って残そう」の運動を展開してきた。

東村市長：この10年は成功と言える。経営の持続性という観点から経費の削減が必要。高架事業、福井鉄道
との相互乗り入れも実現したい。10年間でできたこととできなかったことの整理必要。

橋本市長：あわら市とはいえ旧金津町は沿線ではない。税金の活用にあたり、旧金津町の理解が必要。

松本町長：町内に11の駅がある。サポート団体の取組の推進、鉄道を観光に生かしたい。

山岸市長：人口減少、少子高齢化、コミュニティの後退など地域課題が多い中、鉄道がこれらの改善に役に立
つ。鉄道は生活関連資本として位置づけ、行政は強力なバックアップが必要だ。

宮崎代理：場合によってはクルマの保有に規制を掛けることも検討しないとクルマ社会は
変わらない。

ROBA内田：アンケートからも明らかなように、福井鉄道・バスとの乗り継ぎの満足感
は他と比べて明らかに低い。鉄道と鉄道、鉄道とバスの乗継の利便性をさら
に高めないといけない。駅からのアクセスがないために鉄道利用の機会が得
られない状況である。また、非日常の利用の増加のためには観光ニーズを掘
り起さないといけない。1日フリーキップの認知度はまだ決して高くない。観
光の鉄道利用にはバスとの連携は必要である。

以上

23 年度 福井県健康バイコロジー推進協議会 総会

報告者：内田佳次

開催日：平成 23 年 7 月 20 日（水） 14：00～15：00

場 所：国際交流会館

ROBA をはじめ、県内の市町、サイクリング協会、えちぜん鉄道、福井 FM 放送等が会員（民間 24、地方公共団体 18、団体 6 の計 48）となって構成し、福井県交通まちづくり課が事務局を行っている協議会です。

自転車を活かして、健康や環境を推進していこうと県全体で活動をしています。ROBA は平成 17 年から会員として加わっています。22 年度の事業報告・会計報告に続いて以下のとおり、23 年度の事業計画が示されました。

- バイコロジー啓発サイクリング大会

5 月、6 月、10 月に実施します。

- ”スローライフふくい”ふるさと自転車散歩事業

9 月に勝山市、越前市～越前町で実施します。

- 休眠サイクルリフレッシュ会開催事業

幅広い世代で自転車に乗る習慣の復活を目指し、各種イベントにあわせて休眠自転車の無料点検会等を実施する。今年度は 9 月 17 日に行われるカーフリーデーでの開催を見込んでいるとのことです。

- バイコロジー推奨コース設定事業

- 自転車安全対策事業

- 自転車利用マナーアップキャンペーン事業

【ROBA 提案】

りんりんマップの制作は 2008 年であるが、有効に活用ができていない。今後のためにも 次年度予算に改定経費の計上をお願いしたい。当該マップの制作目的は当協議会の趣 旨にも合致しており、協議をお願いしたい。役員全員にりんりんマップを提供

□委員からは反対の意見はなく、事務局からは「非常にいい取り組みであり活用すべきである」という積極的な見解が得られた。

カーフリーデーふくい 2011in 田原町がスタートしました

ローカルコーディネーター予定：林 博

カーフリーデーふくい 2011 第 1 回実行委員会議事録

日時：平成 23 年 7 月 12 日（火）19:00～20:40

場所：たわら屋

出席：えちぜん鉄道：佐々木、福井鉄道：田淵、京福バス：矢部・山崎・伊藤

まちづくり福井：欠席、田原町デザイン会議：濱野・竹内・上野

田原町商店街：野尻、雑木林を楽しむ会：竹嶋、エコプラン福井：欠席

福井市環境パートナーシップ会議：欠席、福井市福武線サポート団体協議会：欠席

ROBA：内田、林博、畑、清水

以上 14 名

議題：イベント、協賛内容について

●田原町デザイン会議

川下りを実施。10 時～16 時に 22 本運行 1 回 100 円

雨天の場合はたわら屋で子供向けの DVD を放映、水あめコーナーを設置

●えちぜん鉄道

- ・電車の子ども 1 日フリーキップを 100 円で提供
- ・川下り用のヘルメット 10 個を提供
- ・広告用ののぼり旗のポールと旗の作成の協力ができる
- ・パネル展示、ジオラマ、えち鉄グッズの販売ブースを考えている
- ・「公共交通利用促進研究会」（エコプランふくい、福井市環境パートナーシップ会議との連携）の交流会については、田原町駅発の臨時電車を走らせ、福井口駅の電車の中で行う。
その後、参加者を田原町の CFD 会場へ移送する。

●福井鉄道

- ・電車の子ども 1 日フリーキップ 100 円の企画は、昨年通りなら実施可能か
- ・バスの大人同伴の子ども料金を一乗車あたり、100 円で提供
- ・旧サークル K の建物を全面的に提供する。セミナーやワークショップ会場として活用が可能
ただ、電気、冷房、照明の利用ができるかを再検討
- ・福鉄バスの待機場所として利用している広場では当日はバスを待機せず、全面開放する
- ・バスの乗り方教室（県バス協会）は、今年は福鉄バスが主体となり京福バスと連携して実施。
- ・電車の乗り方教室として考えていた車両の使用は安全性等の見地から困難である。

●京福バス

- ・バスの大人同伴の子ども料金を一乗車あたり、100 円で提供
- ・CFD の告知として、バスの前幕ができないか検討する。
- ・バスの乗り方教室は必要に応じて福鉄バスと連携して実施

●田原町商店街

- ・オープンカフェを商店街事業で実施する（雨の場合はたわら屋で行うことは可能）
時間は 11:00～17:00 17:00 以降はビアガーデンとして 21:00 まで営業
- ・CFD の金券チケットの利用は可能（別紙地図の 2, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14,

15, 16, 17, 21 の飲食店とアルフィー、ホリタ書店、サイト化粧品、anfang)

・テントの利用は運搬、設置、片付けをするのであれば OK

●雑木林を楽しむ会

・まだ検討していない。夏休み中であるが、学生のイベント支援も可能。

●ROBA

★街なかイベント★

○「イベント通貨」(委員会全員) 1000 円チケットを 500 円で販売

・子どもや子育て世代を対象にしたようなイベントではなく、様々な年齢層の女性が来場しやすいイベントにできないか。(物販や飲食ができるとういのは)

・環境面から何かイベントが出来ないか。(CO2 削減でチケットや、お米などを提供)

★バス電車体験イベント★

○「ミニ電車」 (福井鉄道) 所有者に確認 OK

・「自転車の乗り方教室」ができないか。

★バス電車利用促進イベント★

○「昼涼みプロジェクトに出かけよう」

(福井市・県が実施する公共施設における昼涼みプロジェクト(入場無料: 郷土歴史博物館 自然史博物館・愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館など)に、フリー切符を使って案内)

・事業者への促進イベントの提案

・えちぜん鉄道・福井鉄道共通フリー切符の割引ができないか。

・福井鉄道の家族切符を 17 日も発売して、大人も対象とした利用促進ができないか。

・福井鉄道・えちぜん鉄道・京福バスの乗り継ぎを組み込んだイベントができないか。

・P & R を促すために P & R を使った際にフリーきっぷ、イベント通貨を進呈できないか。

★講演・交流会など★

○「講演会」(福井市、MT モビリティマネジメント事業)

(福井市体育館を利用して、講演会を実施)

○「カーフリーデー参加事業」(3 市福井鉄道福武線サポート団体等協議会)

(カーフリーデーに参加を促し、公共交通の利用促進を図る関連事業)

★その他★

○「田原町駅ワークショップ(仮称)」の開催

・テーマ 1: 駅をこんなにしたい

・テーマ 2: 電車バスのサービスをこんなにしたい

★その他★

●看板としてのぼり旗

●カーフリーデー登録費

●イベント通貨印刷費

●チラシ印刷費

●チラシデザイン

●イベント保険

今年も楽しいイベントになりそうです。

みなさん 9 月 17 日(土)の予定をあけておいて、ぜひとも参加してくださいよろしく



作／漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 part29



●京福バス停／森田八重巻



マーケットが最近、再開しました。110号でもお知らせしましたが、森田地区内唯一の優良バス停が消えてしまいました。買い物を済ませて、この酷暑の中バスを待つのは辛いものがあります。



バス停の影に人が・・・

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「カーフリーデーの企画も整いつつあります。9月17日（土）みなさん空けておいてくださ～い！」

林（変集長）

「決勝戦に出場した『なでしこJAPAN』の全選手名を全部言えるのは私だけではないはずです。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>